
丸紅、LNG船の保有・運航事業に参入

Edited By LogisticsToday On 2010/10/14

丸紅は14日、BWガス・リミテッド社（BWG社）との間で、BWG社の特別目的子会社（SPC）5社が所有するLNG船8隻の所有権の49%を、約7億ドルで取得することで合意した、と発表した。丸紅がLNG船保有事業に参画するのは初めて。

丸紅とBWGはそれぞれ49%、51%を出資して共同事業会社をバミューダに設立し、共同事業会社がSPC5社を所有、SPC5社の購入資金の一部をプロジェクトファイナンスで調達する。

対象船8隻は2004-08年に韓国の大宇重工で建造され、いずれもナイジェリアLNGリミテッド社向けに最長22.5年間にわたり用船中で、長期LNG販売契約に基づく輸送に従事している。

丸紅はこの協業を足掛かりに、LNGなどのエネルギー輸送ビジネスでBWG社との共同取組みを拡大する。また、LNG輸送だけでなく浮体式LNG生産・貯蔵・積出設備、浮体式LNG貯蔵・再ガス化設備などの関連分野でも事業を拡大していく方針。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/5386>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.